

6/6金
18:00~20:00

前夜祭

[オプション]
ウエルカムイベント/オームタガーデンホテル

おおむたからのメッセージ

認知症の人が地域で安心して暮らせるまち
「大牟田市」は、どうして始まったのか!

認知症の人が地域で安心して暮らせるまちを目指している「大牟田市」。この人たちの「出会い」がなかったら、こんなまちづくりは進んでいなかったのではないだろうか。認知症とともに、認知症を超えて、まちづくりに取り組むを創った人々のトークショーでお泊まりのお客さまをお迎えします。

messenger

しゃべりの場
いやしの場

◎メッセンジャー◎
(言い出したら聞かないわがままトリオ)
永田久美子 大戸誠興 大谷のみ子
with 認知症ケア研究会

6/7土
13:00~18:50 (21:00)

前夜祭

[オプション]
ウエルカムイベント/オームタガーデンホテル

13:00~13:30 開会
13:30~14:50

オープニングセッション

「誰もが安心して暮らせるまちの3つの力」
“自分力” “地域力” “自治体力”を高める秘訣を教えます!

[鼎談者]

メインストリーム協会(兵庫県) 副代表 玉木幸則
全日本手をつなぐ育成会 権利擁護委員長 野沢和弘
(元千葉県障害者差別をなくすための研究会座長・毎日新聞社夕刊編集部長)
慶応義塾大学総合政策学部 教授 浅野史郎
(前宮城県知事)

14:50~15:10 休憩

15:10~16:40

「誰もが自分の人生を生きている!」
本人が“自分力”を發揮して
「地域で生ききる」ための支援のあり方を深めます

[パネラー]

本人ネットワーク支援委員会 委員 永田久美子
(認知症介護研究・研修東京センター主任研究主幹)
大牟田市障害者協議会 事務局長 大場和正
浦河べてるの家(北海道) 理事・ソーシャルワーカー 向谷地生良
(北海道医療福祉大学看護福祉学部教授)

[コーディネーター]

全日本手をつなぐ育成会 権利擁護委員長 野沢和弘
(元千葉県障害者差別をなくすための研究会座長・毎日新聞社夕刊編集部長)

16:40~17:00 休憩

17:00~18:50

絵本&べてるの家ジョイントコンサート
“自分力”を信じよう!“私は私として生きていきたい”

～音楽とトーク、子どもたちの朗読で綴るユーモアとファンタジーの世界～



●大谷のみ子

ゲスト:浦河べてるの家/精神障害当事者の方(北海道)
向谷地生良(北海道)
ミアヤム・ゲーデ(デンマーク)
小中学生(大牟田市)
ナビゲーター:大谷のみ子
音楽:ザ・ヒーリング



●ミアヤム・ゲーデ
デンマークの認知症
コーディネーター

19:30~21:00 交流会(オームタガーデンホテル)

●沖代すずめ

「沖代寄り合い所 すずめの家」を活動拠点として、公民館での多様なサークル活動、子どもから高齢者まで誰もが集える場の開設、食事づくりなどの手助けが必要な人を対象とした自宅へ出向くサービスの実施など、沖代小学校区のまちづくりに取り組むボランティアグループ。

◆活動の経緯◆

1991年 給食サービス「秋桜子」を月2回開始
1993年 沖代公民館開館。ボランティアグループ「沖代すずめ」発足。
公民館で週一回、ボランティアの「すずめサロン」開始
1994年 すずめサロンがミニデイサービスへ発展
(公民館で月2回)
1996年 沖代すずめ「出前演芸」開始
1998年 「鈴の音・すずめサロン(しょうがいのある人が集う)」
公民館で開始
1999年 「すずめのリハビリ教室」公民館で開始
2000年 「沖代寄り合い所 すずめの家」開始
(民家を使った地域のサロン)

●松山市社会福祉協議会

2002年度に松山市より地域活性化事業を受託し、住民座談会とアンケート調査の実施により地域の社会資源を整理。市はこれに基づいて地域福祉計画を策定し、市社協ではこれに連動する地域福祉活動推進計画を策定。住民が活動できる範囲は自治会や町内会との調査結果から、小地域のサロン活動などを通じて、地域の相互扶助力を高めたり、コミュニティづくりを行なったりしている。

●宝塚市

1999年には概ね小学校区を単位とした20のまちづくり協議会が全市域に発足。構成メンバーは自治会や民生児童委員、老人クラブ、子ども会、ボランティアなど、さまざまな地域活動グループを母体に推薦された市民。課題を発見、解決するため、地域ごとにまちづくり計画を作成し、市総合計画の後期基本計画に反映。

●大牟田市

2002年に、「大牟田市認知症ケア研究会」との協働で「地域認知症ケアコミュニティ推進事業」を発足。「意識改革」「介護の質の向上」「地域づくり」を3本柱に、さまざまな認知症対策に官民協働、地域協働を軸にして取り組んでいる。認知症理解のための絵本の作成及び絵本教室開催、認知症コーディネーターの養成、全世帯に「わがまち大牟田の『認知症早期発見・支援』ハンドブック」を配布するなど、認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを目指す。

どんなに障害が重くても、
認知症であっても、
人は皆個人価値の高い「人」です。
この根本理解のもとに大牟田市では、
絵本「いつだって心は生きています」を作成し、
子どもたちとともに、誰もが安心して暮らせる
まちづくりを目指してきました。
このコンサートでは、
本セミナーの基本視点であり、
同時に認知症支援やまちづくりのために私たち
が大切にしている「こころ」について、
精神障害当事者のトークや子どもたちの
絵本朗読などを交えながら、
伝えていきます。

6/7土
9:30~12:00

プログラム

フィールド型分科会で「おおむた」の取り組みを徹底解剖

特別分科会

一緒に作ろう、考えよう! 第4期介護保険事業計画 [大ホール]

フィールド型分科会

1. 『地域の宝探し!』〜介護予防拠点・地域交流施設探検ツアー(ガイド付)〜 [市内地域交流施設]
2. 絵本教室のやり方をおすそ分け!〜中学校編〜 [認知症ケア研究会]
3. 徘徊模擬訓練発祥の地「はやめ南人情ネットワーク」
〜認知症を学ぼうワンデイまち〜 [はやめ南人情ネットワーク]
4. 『まちづくりワークショップ体験』校区の地域福祉活動実施計画を作ろう! [市社会福祉協議会・市地域福祉推進室]
5. 地域生活支援の決め手「地域自立支援協議会」がスタートしました!
〜他分野とのネットワークの構築を目指して〜 [大牟田市障害者協議会、市障害者自立支援協議会]
6. 子どもを支えるため、私たちができること?
〜サポートネットワークの構築と協働のあり方〜 [子ども家庭支援センター「あまぎやま」、市児童家庭課]



●玉木幸則

脳性まひ。4〜5才の1年間を療護施設で過ごす。日本福祉大学卒業後、知的障害者通所授産施設勤務を経て、自立生活センター・メインストリーム協会に、当事者の立場から、障害者の自立生活運動にのめりこむ。社会福祉士。



●野沢和弘

千葉県障害者差別をなくすための研究会の座長として、日本で初めての障害者に対する差別を禁止する条例(障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例)づくりに尽力。自閉症児の父親でもある。



●浅野史郎

前宮城県知事。2004年に「みやぎ知的障害者施設解体宣言」を発表。県内にある知的障害者入所施設の解体と、知的障害者が地域の中で生活できるための条件を整備すること(ノーマライゼーション)を宮城県の障害者施策とした。現在は慶応義塾大学総合政策学部教授。



●永田久美子

本人ネットワーク支援委員会(本人ネットワーク支援委員会)認知症の人が孤立することなく、できるだけ身近な地域で同じ体験をしている仲間とつながり、生きていくための力と勇気を強めていくためのネットワークづくりを推進。認知症の人と家族の会、若年認知症家族会・彩星の会、認知症介護研究・研修東京センター等で構成。



●社会福祉法人浦河べてるの家

1983年、浦河日赤病院の精神科を退院した回復者数人が、浦河教会の片間で、地元日高昆布の袋詰めの下請け作業を始めたのが「べてるの家」の始まり。福祉関連事業、出版事業、教育研修事業、メンテナンス、配送、赤十字病院の給食関連業務の請負、地域の企業とのタイアップ事業などに総勢100人を超える当事者が関わる規模に成長。現在では、精神障害ばかりではなく、さまざまな障害を持った当事者が活動に参加している。

●ザ・ヒーリング

バイオリンとチェロのデュオによる小さな出前コンサートをきっかけに2001年、大牟田市で介護家族や介護従事者の人々の心の安らぎを音楽でつづけていくと結成される。その後、定期的に癒しコンサートを開催(これまでに第9回を数える)。クラシックから映画音楽まで、そのジャンルは多彩。また、「人にやさしいまちづくり」をテーマにトークや歌も加え、さまざまなメッセージを配信している。地元音楽家やアマチュア音楽家を加えた企画もあり、地元のボランティアのサポートを受け、地域に密着した活動を行っている。そのほか、20ヶ所を超える病院、グループホーム、学校、保育所など、さまざまな施設でハートフルコンサートを開催している。



THE HEALING
OSAKA PIANO TRIO
松田淳一(ヴァイオリン・編曲)
後藤敏子(チェロ)
松田淳子(ピアノ)

6/8日
9:30~15:00

講演

9:30~10:00

地域における「新たな支え合い」を求めて
～住民と行政の協働による新しい福祉～

講師

厚生労働省社会・援護局総務課 課長 藤木 則夫
(元介護保険課長、障害福祉課長、障害者保健福祉部企画課長)

10:10~11:40

「誰もがまちに生きていく!」
自治体と地域・住民とのパートナーシップ～協働と連携のあり方を深めます

[パネラー]

沖代すずめ(大分県)	代表	吉田 日出子
松山市社会福祉協議会福祉サービス課(愛媛県)	課長	白方 雅博
宝塚市環境部(兵庫県)	部長	松藤 聖一
(元宝塚市福祉部福祉推進課長)		
大牟田市保健福祉部(福岡県)	部長	平塚 充昭
[サポーター]		
全国コミュニティライフサポートセンター	理事長	池田 昌弘
[コーディネーター]		
日本福祉大学社会福祉学部	教授	平野 隆之

11:40~12:40 昼食・休憩

12:40~13:10

フィールド型分科会報告 リレイトーク

13:10~14:50

まとめのシンポジウム《大牟田からの発信》
「発進!」～誰もが安心して暮らせるまち・大牟田の「未来」へ～

[パネラー]

大牟田市障害者協議会・運営委員会(福岡県)	委員長	叶 義文
はやめ南人情ネットワーク(福岡県)	代表世話人	汐 待律子
大牟田市(福岡県)	市長	古賀 道雄
[サポーター]		
福岡県保健医療介護部介護保険課	課長	宮崎 克彦
厚生労働省社会・援護局総務課	課長	藤木 則夫
(元介護保険課長、障害福祉課長、障害者保健福祉部企画課長)		
[コーディネーター]		
福祉と医療・現場と政策をつなぐ「えにし」ネット 志の縁結び係		
国際医療福祉大学大学院	教授	大熊 由紀子

14:50~15:00 閉会

(敬称略)